

えんど久子前市議国会議員や堤県議らと

日田市の豪雨災害の現場へ

国会議員ら翌日すぐに被災地へ

猿渡（えんど） 久子前市議は、豪雨災害が起きた翌日の7月6日、日本共産党の仁比聡平参議院議員や堤栄三県議、日田市議らと一緒に、7月13日には田村貴昭衆議院議員らと一緒に日田市の豪雨災害の現場を見せていただきました。

日田市の花月川にかかるJR線の鉄橋が壊れた吹上では、6日には大きな橋脚がなぎ倒され堤防が大きくえぐられていました。しかし、13日には応急の復旧工事が急ピッチで完了し、土砂ダムができた小野地区でも道路工事が行われていました。「50年に一度と言うが、5年間で3回ですよ」と地元の方は話していました。

日本共産党翌日に対策本部を設置

13日には観光協会の方のお話を伺いましたが「遊びに来ていただけるのが一番ありがたい応援になる。JR線の復旧を早くしてもらいたい」との要望に、田村貴昭衆議院議員は「私の質問に九州のローカル線はひとつもつぶさない」と政府は答弁しています。道路も必ず復旧するが鉄道もひとつもつぶさないようさらにながります」と力強く答えました。

日本共産党の中央委員会と大分県委員会・福岡県委員会は、6日に九州大洪水対策本部を設置し対応しています。

要望書を提出し改善へ

日本共産党は、7月10日に大分県と日田市に被災者の皆さんの要望をまとめて要望書を提出しました。クレーラーがなかった避難所にはスポットクレーラーが設置されたなど、徐々に改善されています。

7月14日に行われた生活と健康を守る会と大分県との話し合いの中で、えんど久子前市議は「日田市の近隣の公営住宅を避難者の住いに提供できないか」と質問。「日田市や中津市以外の県営住宅の情報は発信しているが、大分市や別府市の住宅だ。他市町とも協議している」との回答でした。



豪雨の翌日の7月6日、日田市の花月川沿いにて。仁比そうへい参議院議員（左奥）や堤栄三県議（右橋）日田市議と、えんど久子さん。

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
Tel.0977-22-6576

No. 8
2017.7.19.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください